

かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。



【★★★パーキンソン病①★★★】

パーキンソン病は年齢が上がるとともに発症のリスクが上がる、高齢者に多い疾患になります。平均発症年齢は60歳になります。症状は、手が震える、手足に特有の固さが出現する、歩くのがゆっくりになる、全体的な動きがゆっくりになる、といった症状が出現します。脳の中の線条体と呼ばれる部位にドーパミン神経細胞が集まっていますが、その数が6～8割程度減少した場合に発症します。上記のような運動症状以外にも不眠症、レム睡眠行動障害と呼ばれる就寝中に大きな声を出す、手足を大きく動かす、抑うつ感、足がムズムズする、臭いがわからなくなる、便秘、足腰の慢性的な痛みといった、運動とは関係のない症状も出現します。▽診断には頭部MRI、ラジオアイソトープ検査（「放射性医薬品」を体内に投与して、疾患の診断を行う検査）の中のDAT SPECT、MIBG心筋シンチグラフィー等を行います。薬剤誘発性のパーキンソニズムもあるため、最初の段階で薬歴を詳しく聴きます。パーキンソン病との鑑別にはパーキンソン症候群もあるのですが、それについては別の機会に記載します。▽パーキンソン病と確定診断になった後は、抗パーキンソン病薬を用いて加療を行います。〔西岡健弥医師 ※次号②に続く〕

編集後記～スタッフのつばやき～

インフルエンザ流行に関するお話です。ご存じの通り、今年はインフルエンザと新型コロナの同時流行がさきやかれております。国立感染症(NIID)のホームページによりますと、インフルエンザ流行の警報や注意報につきましては、2020年の3月頃からほとんど見られなくなりました。現在(10月下旬)はまだ流行の兆しは見えませんが、備えあれば憂いなしです。当クリニックでも只今、インフルエンザワクチン接種を行っております。よろしければご予約をお願い致します。(※コロナワクチン接種は60歳以上限定です。)(K)

医療財団法人ファミリーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル2階

① 外来：心療内科＝大川昭宏院長、永井斐子副院長
内科＝駒形清則医師（第2・第4火曜のみ）

②訪問診療

内科＝駒形清則医師

駒形明紀医師(非常勤)

精神科＝米谷充医師(非常勤)

神経内科＝今井壽正医師、西岡健弥医師(非常勤)

※詳しくはホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233